

上町台地未来遺産フェスタ

[テーマ] 幕末維新 大阪の150年 -大阪の文明開化-

今年、日本の近代化の始まりとなった明治維新から150年。大坂でも幕末、外国船が近海に近づくことから防衛のため、天保山（現 大阪市港区）・堺・楠葉（現 枚方市）に砲台が設けられました。その現状を遺構などを紹介しながら緊迫した幕末の大坂の歴史をたどります。

幕府が滅び、明治新政府の誕生とともに大阪では今の西区川口に、江戸時代には船番所や船奉行所が置かれ、大阪の海の玄関口でしたので、川口を大阪港として開港し税関を置き、外国人居留地を造成しました。川口は大阪の文明開化の出発点となりました。

また、川口とは木津川をはさんだ江之子島には、大阪府庁（2代目）が置かれ、近接して大阪市役所もあり、大阪の行政の中心地となりました。

その後、大阪では内国勸業博覧会なども開かれ、日本の大都市として発展していったのです。

第 1 部

講 演

「幕末の大坂防衛 -天保山・堺・楠葉砲台の現状-」

講師 来村 多加史氏（阪南大学国際観光学部教授）

「忘れられた大阪の外国人居留地 -川口居留地と大阪の文明開化-」

講師 玉置 栄二氏（桃山学院史料室室員）

「第五回内国勸業博覧会とは何だったのか!? -明治人が見た近未来都市“大阪”-」

講師 古川 武志氏（大阪市史編さん所所員）

第 2 部

パネルディスカッション

「幕末維新 大阪の150年 -大阪の文明開化-」

パネラー 来村氏・玉置氏・古川氏

- ◆ 日 時 平成30年12月1日(土)
 受 付 12時30分
 講 演 13時00分
 休 憩 15時40分
 ディスカッション 15時50分
 終 了 16時40分
- ◆ 会 場 大阪歴史博物館4階講堂(大阪メトロ「谷町四丁目」駅すぐ)
 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32
 TEL 06-6946-5728
- ◆ 申 込 先 エリーニ・ユネスコ協会 未来遺産係
 (担当 玉置)
 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-6-2 KFセンタービル4F
 TEL 06-6264-4455
- ◆ 申 込 方 法 郵便葉書又はファックス(06-6264-4465)
- ◆ 申 込 締 切 平成30年11月22日(木)
- ◆ 参 加 費 1,000円(資料代含め、エリーニ・ユネスコ協会に納入されます)
- ◆ 主 催 エリーニ・ユネスコ協会
- ◆ 協 賛 ミナミまち育てネットワーク、一般社団法人関西ニュービジネス協議会
 第一ゼミナール、第一学院高等学校
 学校法人エール学園
- ◆ 後 援 大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会
 大阪歴史博物館、認定特定非営利活動法人 大阪府高齢者大学校

エリーニ・ユネスコ協会宛 FAX 06-6264-4465

[申込書兼受講票] この用紙が受講票となります(受講票は発送致しません)ので、
 事前にお申込の上、当日こちらの用紙をお持ち下さい。

・12月1日の歴史シンポジウムを 受講致します。

お名前

ご住所

TEL ()

FAX ()

メールアドレス
